

奥井理（おくいみがく）さん 1976年1月6日札幌生まれ 北海道札幌西高等学校卒業

2019年6月30日午前、札幌市旭ヶ丘にある奥井理ギャラリーに向かいました。私は、学ぶことの意義を、15年前の2004年、札幌の街角の書店で出逢った、奥井理さんの「19歳の叫び」（北海道新聞社）という書籍の中の「地球に生まれて」と題した詩や「命」と題した絵を中心に伝えています。私と同世代に生まれた奥井さんは、19歳の時に不慮の交通事故により、短い生涯を終えました。しかし、奥井さんの思いを綴った詩、文章や絵は今でも鮮明に生きており、強い心の叫びが書籍の随所にあふれています。札幌に行った際は、静かに奥井理ギャラリーに寄ることにしています。今回で4回目の訪問になりました。展示作品が19歳で夭折した画家が生み出したということは驚嘆に値します。どのテーマも素晴らしい作品ばかりです。不器用な生き方しかできなかったとご両親が書籍で記されている若き奥井さんの作品の放つ、強烈なエネルギーに私は圧倒されます。これから日本を代表する画家としてさらに評価されて欲しいです。画廊は札幌市街を見渡せる静かなたたずまいです。生きること学ぶことの素晴らしさをさりげなく教えてくれる素敵な場所です。うまく伝えられませんが、作品を眺めながら、訪問者の現在の生き方が問われる場所だと感じています。そして、奥井さんのご両親の深い愛情に包まれた場所でもあります。私自身、悩んでいたとき、奥井さんの言葉と絵から大きなエネルギーをいただきました。人生を強く後押ししてくださりました。当時、ぎりぎりの努力を継続させていました。どんなに有名で大きな美術館よりも素晴らしい場所が札幌にはあります。私にとって大切な場所です。



「地球に生まれて」

地球という惑星に生まれた星人、それが人間。
受精から考えて18年前僕は、夜空に広がる宇宙もこの地球も人間のことすらも知りもしなかった。
何一つ知りもしなかった。
それが、何かの間違いで僕は地球星人として生まれた。
人間には歴史があった。
人間には社会があった。
宇宙から見ると極めて奇妙な建物を人間自ら作り出してきた。
地球人生は本当に素晴らしい。
しかし、その素晴らしさも勉強することで初めて気付く。
勉強のない地球人生はサルやイヌと同じだ。
人間の素晴らしさを分かるためには勉強するしかない。
勉強すればするほど課題が出てくる。
限りない世界だ。
地球人生の素晴らしさを感じるためにはそれを好きになるしか他はない。
それにしても人間って面白い存在だと思う。
宇宙的に見ても本当に面白いと思う。
生まれてきて本当に良かった。

コンテ・60.0×50.0cm・高校3年 「叫び」



油彩・オブジェ・51.5×74.0cm・高校3年 「命」



油彩・F100・高校3年 「生きる」

【奥井理 様の母 奥井登代 様の承諾を得て作品・詩を掲載】



写真5 ㊤㊦現在の北海道札幌西高等学校の様子（2015年9月撮影）



写真6 奥井理さんを育んだ札幌西高・旧校舎の概観



写真7 札幌西高・旧校舎の航空写真

奥井理さんは、札幌西高に1991年4月にご入学され、1994年3月にご卒業されました。私は、1965年3月卒業ですので、約30年、奥井さんの先輩ということになります。学校は1995年に新しい校舎に建て替えられています。旧校舎の写真について、上空からの航空写真が1962年にできた当時のものです（札幌西高同窓会報から）。私は高校3年間をこの校舎で過ごしました。奥井さんは年代的に建て替え中でしたので微妙ですがこの校舎に通学していたものと推察されます。新校舎の写真は2015年9月、札幌西高・副校長の案内で母校を訪問した際に撮影したものです。

【写真5～7提供 文責 顧問 渡会襄一】

室蘭工大同窓生の皆様方の多くが愛・地球博を訪れたのではないのでしょうか。2005年3月25日から9月25日まで、長久手会場（愛知県長久手市及び豊田市）および瀬戸会場（愛知県瀬戸市）の2会場で開催された博覧会です。メイン会場は、計画されていた瀬戸会場から長久手会場に変更になりました。従いまして瀬戸会場へは訪問していない方が多かったのではないのでしょうか。

瀬戸会場の海上の森（かいしょのもり）は、愛知県瀬戸市の海上町を中心に上之山町、屋戸町、吉野町、広久手町にかけての地にある約600haの森林、公園です。庄内川水系矢田川の支流海上川などの上流域の山域です。2005年日本国際博覧会（愛・地球博）の会場地として注目を浴び、日本や世界の自然保護運動やその後の国際博覧会のあり方に影響を与えた場所です。オオタカの巣が確認されたことを契機に大規模な反対運動がひろがり会場計画が大きく見直され、森の全体が残されることになりました。周辺には古墳もあり、武田信玄の墓があるなどの伝説が残る土地です。

私は、毎週土曜日の朝、海上の森・山登り会のメンバー20名と海上の森の物見山（ものみやま）に登っています。食事制限と筋トレ、水泳で体重を35キロ以上落とし、山登りとマラソンが趣味になりました。物見山は武田信玄の家臣が濃尾平野を望んだことから名付けられたそうです。朝5時に起きて、自宅から車で15分、海上の森駐車場に6時に着きました。休憩をはさみながら皆さんと登り、1時間40分ほどで物見山の山頂に着きました。途中、鳥のさえずる声、沢の水の音、美しい森と草花、森をおおう空気、森をふき抜ける風、皆さんとの会話、笑い声…最高の時間です。北海道の大自然にも負けない晴らしさがあります。山頂では、歌の披露、そして海上の森の歌を皆さんと一緒に合唱します。およそ30分間の楽しい時間です。

山頂は、巨石が点在するなだらかな平場になっています。ベンチも設けられています。東側の展望が開けていて、養老山や伊吹山まで日本のほぼまん中に広がる濃尾平野が一望でき、美しい景観です。見通しがよいと、名古屋駅周辺の高層ビルがはっきりと見えます。



写真8 愛知県瀬戸市海上の森 物見山（2019年9月）



写真9 愛・地球博マンモスの骨格



写真10 愛・地球博長久手会場入口ゲート付近の様子

「懐かしい！」。2年くらい前になりますが、ふとテレビを見ていると室蘭の「ランプ城」が紹介されてました。ランプ城とは、追直漁港近くのオーシャンビューな喫茶店…そのような潜在能力を立地条件に持つ店ですが、世間の認識は「秘境」「マニアック」「異次元」など「崖の上のミステリー」として認識されている老舗喫茶店です。学生時代から「すごい所にヤバイ店がある」「店内には崖に繋がる扉があり、魔女がそこから突き落とす」という都市伝説的なウワサを耳にして気になってましたが行った事はありません。テレビではご高齢の店主（この人が学生時代魔女と呼ばれた人か;失礼）がお元気な様子だったので、店主がお元気づちにお会いしたいと思いました。

ランプ城に行ってきました。店へのアプローチは長く、先が見えない感じがミステリーな雰囲気。ランプ城」と店名を掲げたゲートをくぐるとウワサ通りの昭和レトロ、ノスタルジーな雰囲気。店主もお元気そうで「去年のGWにドラゴンボールの作者が来てサインを書いていた」との逸話とサイン色紙を見せてもらいました。真偽を確かめるのも楽しみのひとつにしつつ、皆さまも室蘭を訪れてはいかがでしょうか。

【寄稿 平成11年 建設システム院 佐々木琢磨 様（札幌市在住）】



写真11 ランプ城での記念撮影（左佐々木琢磨 様）

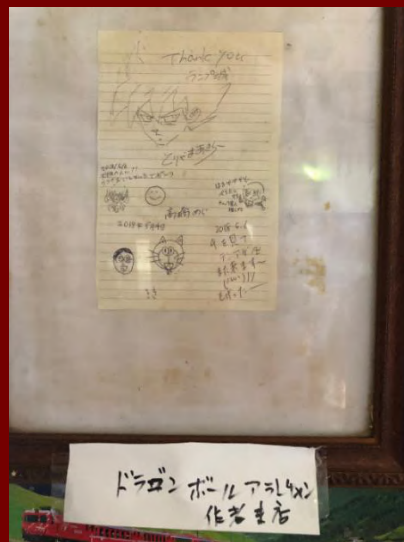


写真12 ドラゴンボール作者サイン？



写真13 喫茶店入口の様子

琢磨君。笹山下宿ではいつも本当にありがとうございました。札幌の名門高校のご出身でした。とても自立していて優秀で穏やかな人柄で、私としましては心から尊敬していました。前に、札幌に行ったとき、お休みのところ新千歳空港まで見送りに来て下さいましたね。本当にありがとう！琢磨君は副専門では言語コースを専攻していました。英語が得意でしたね。いつも友人や下宿の後輩から慕われていました。思い出は、一緒に琢磨君の車でスーパー銭湯に行くことでした。登別のバイトから帰った後に銭湯に誘って下さってありがとうございました。いつも琢磨君の部屋で、色々たわいもないことを語り合ったことを今でも鮮明に覚えています。私の高校時代の友人が北海道に遊びに来たとき一緒に道東旅行に行きましたね。帯広で食べた焼肉は美味しかったです。これからもどうぞよろしくお願い致します！ジャックダニエル（ウイスキー）をたくさん飲みましたね。（笑）

琢磨君ありがとう！また会おう！

ここでテストです！誌上、北海道力検定試験！

以下の問いに答えなさい。60点以上が合格です。不合格の場合、再試験はしません。次年度に再履修してください。あらゆるものの持ち込み及び参照を可とします。(笑)合格した場合、抽選で1名の方になんと20年前の道南バスのバスカード1000円分をプレゼントします！冗談です。(笑)

- 問1 北海道弁「ママさんダンプ持ってきて」を標準語で説明しなさい。【20点】
問2 次の北海道の地名等5つを正しく読みなさい。重蘭窮，一巳，負籠，蕨岱，分遣瀬 【20点】
問3 「セコマ」とは何の略か。またその特徴について他と比較して論じなさい。【20点】
問4 北海道で親しまれている「揚げいも」について、美味しいお店と作り方について説明しなさい。【20点】
問5 北海道のカップ焼きそばといえば何か。またその特徴について論じなさい。【20点】

笹山下宿・室蘭での思い出 回想

室蘭工大での4年間の学生生活を母のように温かく見守ってくださりました高砂町5丁目、笹山下宿（笹山食堂）の10年前に他界した笹山チナ様に深く感謝申し上げます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。チナ様のつくったラーメンは美味しくて絶品でした。もう二度と食べられません。再び、チナ様の温かいお人柄に触れたかったです。優しさ溢れる心の広い室蘭のお母さんでした。

【文責 副支部長 井上 満】

同窓生の皆様の寮，下宿等での学生生活はいかがでしたか？是非お話を聞かせください！



写真11 笹山下宿前にて撮影（今から24年前）
右からチナ様，正代様，一番㊦が当時の井上



写真12 現在の井上 2019年11月
（勤務先にて撮影）



写真13 室蘭の母 若き頃の笹山チナ様
【写真11及び13提供 チナ様の娘 笹山正代 様】



写真14 室蘭工大上流の水源地でのハイキング
（今から50年前の貴重な渡会先輩の写真）
【写真14提供 顧問 渡会襄一】

上田 満 顧問 追悼特集

上田 満 (室蘭工業大学同窓会東海支部 顧問 元支部長 電気・昭和31年卒)



写真15 左 平成23年6月5日(日) キリンビール名古屋工場 乾杯の挨拶をする上田満先輩
右 平成21年1月25日(日) 大府駅前「みかど」で角岡支部長と談笑する上田満先輩

病氣療養中でありました、上田満先輩(昭和31年電気卒)が、本年3月19日に逝去されました。役員会でも上田先輩の治癒快復を祈っておりました。厳しさの中にも優しさのあるお人柄でした。長年にわたり東海支部を愛し、支えてこられました。上田先輩と直接お話しできた時間はそれほど多くありませんでした。しかし、お会いした時にはいつも、優しい笑顔と厳しいご助言があったと記憶しております。個人的には「あなたの仕事は大変だね。」と理解を示し、「出会いを大切にするように。」とお話しくださいました。常に行動力のある知識人でした。もっと色々とお話し、学ばせていただいたかったとの思いが尽きません。上田先輩はお酒が強い方ではなかったのですが、同窓会の宴会ではいつもおいしいお酒を持ってきていただき、ふるまっていたいただきました。酒席での快活な笑顔、教養溢れる楽しいお話、また少年のような稚気は、同席するものすべてをととても幸せにしてくださいました。そんな上田先輩のことを、昨日のこのように思い出します。上田先輩は、同窓会のリーダーとして、その歩むべき方向を明快に示されました。また、人生に立ち向かう自信と勇気をくださいました。心から感謝申し上げます。どうか安らかにお休みください。室蘭工大同窓会東海支部会員一同、哀悼を捧げます。

<上田満先輩の次女 故・上田明子さんを偲ぶ>

愛知県立明和高等学校音楽科卒業 桐朋学園大学音楽学部音楽学科卒業 平成21年5月20日逝去

とうかい音楽教室(名古屋市緑区) 講師 上柿良太 様 にお話をうかがいました。3歳よりヴァイオリンを始める。愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部器楽科を卒業。ヴァイオリンを(故)上田明子、福本泰之、D・ノーランに師事。

「私は、愛知県東浦町のご自宅にて、父・満様には何度かお会いしたことがあります。3歳から18歳までの多感な時期にずっと明子様からヴァイオリンを習っていました。明子様にご教授いただいたヴァイオリンの技術が今、自分の行っているレッスンの礎になっています。明子さんは、母校の明和高校でも非常勤講師として音楽を教えていました。さらに、明和高校等の卒業生にもヴァイオリンを教えていました。とてもユニークなお人柄で、負けず嫌いな一面を持っていたと思います。ご病気で入院されていた際、刈谷豊田総合病院に何度もお見舞いに行きました。」当時を振り返り、懐かしくも、悲しさをにじませた声で丁寧にお話しいただきました。今でも上柿様にとって大切な特別な存在であることが伺われます。明子さまは平成7年の同窓会東海支部総会・懇親会では美しい音色のヴァイオリンをご披露くださりました。明子様のご活動に深甚なる敬意を表し、東海支部と致しまして心からご冥福をお祈りする次第でございます。



写真16 上柿良太 様

【企画 顧問 渡会襄一 取材・文責 副支部長 井上 満】

東海支部会報編集委員会(2回開催)
7月10日 愛知県岡崎市にて開催

写真 ①愛知県・名古屋市及び瀬戸市(名古屋栄から千種区、瀬戸方面を望む景観)
②神奈川県・平塚市(湘南平から見た江ノ島方面を望む景観)

同窓会報に対するご意見・ご感想をぜひお寄せください!!
東海支部副支部長・広報担当 井上 満

2020年4月発行のモ・ルランにご期待ください!!



緊急のお知らせ
横浜国立大学 今野紀雄教授 研究室 主催
(元室蘭工業大学助教授)
テーマ:「数理芸術 2019 化学反応系時空集積体のアルゴリズムを抽出せよ!」
日程:11/26(火) - 12/1(日)
場所:横浜元町 Zaimcafe annex
11/30(土)18時より懇親会!是非ご参加ください!
会費:5,000円 井上は参加します!
問い合わせ先:naito-takuto-gy@ynu.jp (内藤拓人(今野研 学部4年生))

